

あけましておめでとつ、ごいします。
皆様におかれましては、令和5年の新春を迎え、希望に溢れる輝かしい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は長引くコロナ禍において、3年ぶりに行動制限のない夏となりましたが、これまで主流だったオミクロン株「B.A.2」から感染力がさらに強い「B.A.5」への置き換わりにより、全国的にもこれまで経験したことのないほど急速な感染拡大となりました。本市におきましても、過去最多となる104人の新規感染者が確認されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が続く年となりました。さらに、ロシアのウクライナ侵攻による影響を受け、原油価格や物価の高騰など、市民生活への影響が顕著な年となりました。

一方で、昨年開催された「北京2022オリンピック冬季競技大会」で、冬季五輪史上最多となるメダルを獲得した日本選手団や「FIFAワールドカップカタール

2022」で歴史的勝利を収めたサッカー日本代表は、日本中に感動と勇気を与えてくれました。改めてスポーツの持つ力や素晴らしさが社会の活力に繋がると実感した年でもありました。

さて、本市では新型コロナウイルス感染症について、基本的な感染回避行動の徹底とワクチン接種を推奨するなど、感染防止対策を行ってまいりましたが、「第8波」や、インフルエンザとの同時流行が懸念されるなど、収束の見通しはまだ立たない状況となっております。市民の皆様におかれましては、引き続き、感染回避行動の徹底と重症化予防や発症予防のため、ワクチン接種にご理解とご協力をお願いいたします。

また、コロナ禍における原油価格・物価高騰等により大きな影響を受けている市民の皆様や事業者の皆様を幅広く支援する取り組みとして「水道料金の負担軽減」や「地域消費活性化商品券の発行」などを実施し、1月には灯油やガソリン等を利用できる「とうおん温か燃料券」を市内の全世帯

やっらに前へ。

2023年が幕を開けた。物価高騰、少子高齢化、人口減少、環境問題。日本全体で課題がある中、東温市がさらに前進するためすべきことは何か。加藤市長が新年の抱負を伝える。



に配付する取り組みを開始いたします。このような状況の中、市民の皆様が生活や健康を守るとともに、ウィズコロナ・ポストコロナも見据えながら、人口減少、少子高齢化等の諸課題に対応し、持続可能なまちづくりを目指した取り組みを進めてまいります。

さらに、令和5年度末の供用開始を目指す東温スマートインターチェンジの早期実現や周辺道路の整備、工業団地の整備をはじめ、デジタル化の推進、南海トラフ地震に備えた防災減災対策や重信川最上流を預かるまちとしての「環境政策の推進」など、各種施策に取り組んでまいります。

今後も市民の皆様との信頼関係のもと、身近で開かれた市政を展開し、皆様と共に歩む「温か笑顔の東温市」の実現に向けて、「オー東温」で全力前進してまいりますので、引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。皆様にとりまして、本年が明るく希望に満ちた素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶いたします。